

【常設展示室 ①】 Welcome to Takamatsu Art Museum!! —2023、24年度新収蔵作品を中心に

高松市美術館は「戦後日本の現代美術」「20世紀以降の世界の美術(版画)」「香川の美術(漆芸・金工)」を3つの柱として系統的に作品収集を行っており、現在、約1,800点を収蔵しています。本展では、瀬戸内国際芸術祭(瀬戸芸)2025の開催に合わせて、質・量ともに日本屈指といえる当館の「戦後日本の現代美術」コレクションの中から瀬戸芸関連作品と2023・24年度新収蔵作品の数々を紹介し、現代アートの多彩な魅力に迫ります。

小川信治の《ブランコの絶好のチャンス》(24年度新収蔵)は、ロココ時代に描かれた同タイトルの名画から人物だけを抜き出しそれ以外をそっくりに描いたもので、小川の描写力に驚かされます。中西夏之の素描《作品・5月のためのドローイング》

(24年度新収蔵)は、並行して制作された油彩作品《作品・5月VI》とあわせて紹介することで、中西の意図や表現をより深く理解できるでしょう。

また、瀬戸内国際芸術祭2016参加の際に、片山真理が直島に滞在し制作した連作《bystander》(24年度新収蔵)、鴻池朋子による瀬戸内海の大島の北の山を拓いた《リングワンデルング》内にある《逃走階段》の構想模型、さらに、特別出品の鴻池朋子《指人形》(作家蔵)は、島々の芸術祭の作品とともに楽しみください。

16作家25作品から、「戦後日本の現代美術」の多様な表現とともに、高松市美術館のコレクションの歴史と広がりを感じていただければ幸いです。

作品リスト

☆2024年度新収蔵 ★2023年度新収蔵
No./作家/作品名/制作年(表記のないものは不詳)/技法・材質/寸法(縦×横×高または奥行、直径×高)cm

☆1 小川信治	ブランコの絶好のチャンス 2013/油彩・カンヴァス/80.5×65.4	15 岩崎貴宏	Out of Disorder (Snow Mountain) 2010/レースカーテン/175.0×180.0×52.0 (サイズ可変)
2 小川信治	恋文 2006/油彩・カンヴァス/50.0×43.6	☆16 富井大裕	board band board 2013/アクリル板、ポリプロピレンバンド/40.0×40.0×60.0
★3 ジム・ダイン	バスローブ 1964/エッチング・紙/56.0×42.5	☆17 富井大裕	board paper board (half origami) 2019/アクリル板、折り紙/45.0×45.0×42.0
4 ジム・ダイン	黒と白のバスローブ 1975/リトグラフ・紙/91.7×60.6	18 三木富雄	耳 No.120 1965/シルクスクリーン・アクリル/43.0×11.2×52.0
★5 野見山暁治	今朝の海 1990頃/インク、グワッシュ・紙/57.2×76.1	☆19 竹村 京	Playing Cards on Building in N.City 2019/絹糸、合成繊維、カラー印刷・布/100.0×144.0 寄贈：株式会社バッファロー代表取締役社長 牧寛之氏
6 野見山暁治	虚空 1962/油彩・カンヴァス/88.5×146.0	20 伊藤 存	森 2006/毛糸、刺繍糸・布/171.0×240.0
☆7 中西夏之	作品・5月のためのドローイング 1984/鉛筆・紙/各44.0×52.0 6点	21 青山 悟	Glitter Pieces #23 2009/ポリエステルにメタリック糸と黒糸で刺繍/34.0×26.5
8 中西夏之	作品・5月VI 1984/油彩・カンヴァス/194.0×142.0	22 鴻池朋子	風が語った昔話 2015/ミクストメディア/238.0×220.0×3.0
9 山口 晃	中西夏之氏公開制作乃圖 2003/油彩・カンヴァス/50.0×292.0	23 鴻池朋子	瀬戸内国際芸術祭2022大島における「逃走階段」に関する計画資料 2022/紙資料、計画模型、写真、ミクストメディアほか/サイズ可変
10 林 康夫	作品 '67-11 1967/赤あわせ土・紐づくり/26.0×40.0×41.0	☆24 片山真理	bystander #004 2016/Cプリント、額/42.0×56.0
★11 林 康夫	Brown 1992/黒化粧、施釉、陶/25.5×24.0×21.5	☆25 片山真理	bystander #024 2016/Cプリント、装飾された額/120.0×90.0
12 八木一夫	抗走者 1955/信楽土、轆轤成形、白化粧/22.0×22.0	特別出品	
13 草間彌生	Airmail Accumulation 1961/コラージュ・紙/53.0×68.0	鴻池朋子	指人形 2023-24/ミクストメディア(紙粘土、毛糸、布ほか)
14 草間彌生	Untitled 1961/コラージュ・紙/50.0×45.0		

令和7(2025)年

4月5日[土]—6月29日[日]

会場/高松市美術館常設展示室1・2

開館時間/9:30~17:00

(ただし、特別展開催期間4/12~6/8の金・土は19:00まで)

休館日/月曜日(ただし、5/5[月・祝]開館、5/7[水]休館)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711

学芸員によるギャラリートーク

※要観覧券

2025年6月22日(日)14:00~

【常設展示室②】香川の工芸 — 2024年度新収蔵作品を中心に

「香川の美術(漆芸・金工)」を高松市美術館の収集方針の三つの柱の一つとして、これまで、讃岐漆芸と近代金属工芸の作品を中心に600点以上をコレクションしてきました。2024年度には、讃岐漆芸を代表する漆芸家である音丸耕堂、明石朴景、磯井正美らの作品を新たに収蔵することになりました。本展では、新収蔵13点を含む7作家29点の作品を紹介いたします。

四国を中心に分布する浦島草を、モノトーンを基調とした彫漆で仕上げた音丸耕堂の《彫漆浦島草文手箱》、明石朴景の葉を落とした二本の樹木とその枝に休む一羽の猛禽を描いた大作《樹間寂寥》やカトリアを色鮮やかにあしらった《乾漆壺 麗花》、磯井正美の初期作品で

あり網代を素地にした《蒔番 波文 丸盆》や帯状のボール紙を素地にした磯井独自の技法「季星」で自由な形状を可能にした《季星 彩漆 盛器》、ベトナムのハロン湾をモチーフにした連作《漆絵 ハロン湾旅情 漆額》《漆絵 ハロン湾曙光 漆額》など、各作家たちのキャリアにおける重要作品から、展覧会では未発表の明石朴景《菖蒲 小屏風》や磯井正美の《蒔番 時不可失 如意》など知られざる逸品まで多彩に展示いたします。

購入・寄贈・寄託合せて13点の新収蔵作品を迎え、一層の充実を見せた高松市美術館の「香川の美術(漆芸・金工)」コレクションをお楽しみください。

作品リスト

☆2024年度新収蔵
No. / 作家 / 作品名 / 制作年(表記のないものは不詳) / 技法・材質 / 寸法(縦×横×高または奥行、直径×高)cm

☆1	音丸耕堂	彫漆浦島草文手箱 1954 / 漆 / 30.2×27.0×11.5	15	明石朴景	彫漆 菖蒲華紋筐 1952 / 漆 / 30.4×33.4×9.8
2	音丸耕堂	彫漆双鯨之圖料紙箱 1934 / 漆 / 34.0×40.8×16.6	☆16	明石朴景	乾漆壺 麗花 1988 / 漆 / 21.4×31.3×23.9
3	音丸耕堂	彫漆月之花手箱 1942 / 漆 / 27.3×30.3×22.5	☆17	明石朴景	乾漆 海賊文壺 1991 頃 / 漆 / 25.4×28.8×39.5
4	音丸耕堂	堆朱南瓜文色紙箱 1949 / 漆 / 27.8×30.7×4.7	☆18	明石朴景	菖蒲 小屏風 漆 / 36.5×185.6×1.5
5	音丸耕堂	彫漆銀蘭文 茶入 漆 / 8.5×6.9	☆19	明石朴景	樹間寂寥 1976 / 漆 / 180.7×161.4
6	音丸耕堂	堆漆茶器 佗介文 漆 / 6.8×5.6	20	明石朴景	春秋麗日 1979 / 漆 / 170.6×151.2
7	音丸耕堂	彫漆宵待草 水指 1990 / 漆 / 20.7×12.5	☆21	磯井正美	蒔番 波文 丸盆 1958 頃 / 漆 / 38.5×3.8
8	音丸 淳	彫漆桔梗文水指 1986 / 漆 / 20.5×20.5×12.0	22	磯井正美	捲胎 蒔番 雲気文 花瓶 1963 / 漆 / 23.8×25.6
9	大須賀喬	鈴虫文鉄小管 1965 / 鉄、胡桃材 / 13.2×17.7×13.5	☆23	磯井正美	季星 彩漆 盛器 1963 / 漆 / 39.5×9.4
☆10	大須賀喬	蝶文 象嵌鉄小管 1966 / 鉄、胡桃材 / 14.5×21.6×15.9	24	磯井正美	蒔番墨流文香盆 1967 / 漆 / 36.3×36.2×3.6
11	大須賀喬	黄銅花器 1930 / 黄銅 / 32.5×21.0	☆25	磯井正美	漆絵 ハロン湾曙光 漆額 2008 / 漆 / 28.0×71.0
12	大須賀喬	金彩虫の壺 1978 / 銀 / 30.0×37.0	☆26	磯井正美	漆絵 ハロン湾旅情 漆額 2008 / 漆 / 28.0×71.0
13	大須賀喬	象嵌鉄壺 蝶宴 1979 / 鉄に銀象嵌 / 35.0×32.0	☆27	磯井正美	蒔番 時不可失 如意 2010 頃 / 漆 / 52.3×10.6×4.9
14	大須賀選	蜻蛉文黒銅小管 1999 / 黒味銅 / 12.3×14.2×12.7	☆28	磯井正美	蒔番 青い気球 漆額 2012 / 漆 / 28.0×35.5
			☆29	山下義人	鱗翅文 蒔絵箱 1978 / 漆 / 14.0×24.0×15.0 [寄託]

令和7(2025)年

4月5日 [土] — 6月29日 [日]

会場 / 高松市美術館常設展示室1・2

開館時間 / 9:30~17:00

(ただし、特別展開催期間 4/12~6/8 の金・土は19:00まで)

休館日 / 月曜日(ただし、5/5[月・祝]開館、5/7[水]休館)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711

学芸員によるギャラリートーク

※要観覧券

2025年 6月22日(日) 14:00~